

攻めのIT経営アンケート調査2017 質問項目

各項目の2つ目の質問（記述欄）は、1つ目の質問で回答いただいた内容の「エビデンスとなる情報」として可能な範囲でご記入をお願いします。記入いただいた内容自体を評価する質問ではありませんが、選定・発表の際に確認させていただく可能性があります。

各項目の3つ目の質問として、別途発表している「攻めのIT-IRガイドライン」と連動した、ITに関する情報開示に関する内容を一部お聞きしております（評価に利用いたします）。

I	経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用
1	経営方針および経営計画における企業価値向上のためのIT活用
1-1	経営方針および経営計画（中期経営計画・統合報告書等）の中に企業価値向上のための IT 活用、特に最新のデジタル技術の活用に関する方針等を含めていますか。
1	最新のデジタル技術の活用に関する方針等が含まれている
2	IT活用に関する方針は含まれているが、最新のデジタル技術の活用に関しては触れていない。
3	含まれていない
1または2を選択された場合は下記1-2、1-3についてもお答えください。	
1-2 記述	その内容が記載された経営方針または経営計画の資料名・URL等をご記入ください。 例：株主通信●ページに記載
1-3	その内容をIR資料等で公開していますか
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
2	社外への公開を準備中である
3	公開する予定はない
2	企業価値向上のためのIT活用計画
2-1	企業価値向上のための IT 活用計画、特に最新のデジタル技術の活用に関する計画等（中期IT戦略等）があり、スケジュール等を含め具体化していますか。
1	最新のデジタル技術の活用を含む企業価値向上のための IT 活用計画等があり、スケジュール等を含め具体化している
2	企業価値向上のための IT 活用計画等があり、スケジュール等を含め具体化しているが、最新のデジタル技術の活用に関しては触れていない。
3	企業価値向上のための IT 活用計画がない
1または2を選択された場合は下記2-2、2-3についてもお答えください。	
2-2 記述	その計画の具体的名称をご記入ください。 例：中期IT投資計画
2-3	その内容をIR資料等で公開していますか
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
2	報告書等で社内でも周知されており、社外への公開も準備中である
3	社内では周知されているが、公開の予定はない
3	経営トップのメッセージ
3-1	経営トップのメッセージとして、企業価値向上のための IT 活用、特に最新のデジタル技術の活用等について発信していますか。
1	最新のデジタル技術の活用を含む企業価値向上のためのIT活用について、社内および社外に発信している
2	企業価値向上のためのIT活用について社内および社外に発信しているが、最新のデジタル技術の活用に関しては触れていない
3	社内でのみ発信している
4	発信していない
1および2を選択された場合は下記3-2についてもお答えください。	
3-2 記述	そのメッセージが記載された資料名・メディア名称・URL等をご記入ください。 例：株主通信●ページ、●●新聞2016年1月20日号（10面）
4	企業価値向上のためのIT活用についての、経営トップの指示・関与
4-1	企業価値向上のためのIT活用に関して、経営トップはどの程度関与していますか。
1	経営トップが企業価値向上のためのIT活用に関して具体的に指示をするなど、積極的に関与している
2	経営トップが企業価値向上のためのIT活用に関してある程度関与している
3	経営トップの企業価値向上のためのIT活用への関与は少ない
1または2を選択された場合は下記4-2についてもお答えください。	
4-2 記述	指示や関与の状況を簡単にご説明ください。 例：ステアリング会議にて●●プロジェクトの××に対して具体的に指示
5	「企業価値向上のためのIT活用」ミッションの責任者の任命
5-1	最新のデジタル技術の活用を含む「企業価値向上のためのIT活用」ミッションに関する責任者が任命されていますか。
1	経営層（役員会等のメンバー）が責任者として任命されている
2	経営層（役員会等のメンバー）ではない部門長（事業部またはIT担当部門）が責任者となっている
3	任命されていない
1または2を選択された場合は下記5-2についてもお答えください。	
5-2 記述	該当される方の役職をご記入ください。 例：取締役副社長

6	「企業価値向上のためのIT活用」ミッションの責任者のケイパビリティ	
6-1	Q5でお答えいただいた「企業価値向上のためのIT活用」ミッションの責任者は、ビジネスおよびITの経験を持つなど、その動向に精通していますか。	
	1	「企業価値向上のためのIT活用」に関する責任者が、ビジネスおよび最新の技術動向や活用動向に精通している
	2	「企業価値向上のためのIT活用」に関する責任者がビジネスには精通しており、最新の技術動向や活用動向もある程度理解している
	3	「企業価値向上のためのIT活用」に関する責任者がある程度ビジネスを理解しており、最新の技術動向や活用動向には精通している
	4	いずれも理解はしているが、精通しているとまでは言えない
	1または2または3を選択された場合は下記6-2についてもお答えください。	
6-2	どのような分野に精通されているか、簡単にご紹介ください。 例：ITを活用した新規事業立ち上げの経験を持ち、業界を超えたビジネス動向、最新のデジタル技術活用動向などに精通している	
7	実質的なITの統括責任者（CIO等）①	
7-1	実質的なITの統括責任者（CIO等）はどのようなお立場ですか。	
	1	役員がITの統括責任者を務めている
	2	役員ではない部門長がITの統括責任者となっている
	3	認識されていない、該当する人はいない
	1を選択された場合は下記7-2についてもお答えください。	
7-2	該当する方の役職をご記入ください。 例：常務執行役員 IT本部長	
8	実質的なITの統括責任者（CIO等）②	
8-1	実質的なITの統括責任者（CIO等）は専任ですか、兼任ですか。	
	1	IT統括の専任である
	2	IT統括以外に担当分野がある
	いずれを選択された場合も下記8-2についてもお答えください。	
8-2	質的なITの統括責任者（CIO等）の職務分掌をご記入ください。 例：ITの統括および全社横断の業務改革担当	
9	実質的なITの統括責任者（CIO等）③	
9-1	実質的なITの統括責任者（CIO等）の責任範囲はどの範囲ですか。	
	1	エンタープライズIT（会計、経理・財務、人事等の社内ITシステム、および共通ITインフラ（メール等）に加えて、全てのビジネスIT（事業独自のIT）を含む
	2	エンタープライズITに加えて、一部のビジネスIT（事業独自のIT）を含む
	3	エンタープライズITのみ
	4	エンタープライズITのみだが、ビジネスITについては別の統括責任者が存在する
	5	その他：具体的にご記入ください（ ）
	いずれを選択された場合も下記9-2についてもお答えください。	
9-2	実質的なITの統括責任者（CIO等）に該当される方の責任範囲（部門名等）をご記入ください。 例：IT部門と販売系部門のビジネスIT	

II 企業価値向上のための戦略的IT活用	
10 企業価値向上のためのIT予算の確保	
10-1	IT予算（エンタープライズIT・ビジネスITすべて）のうち、企業価値向上のためのIT活用に予算の一定の金額または一定比率を確保するとともに、その予算を増やすための取組みを実施されていますか。
1	一定予算枠を常に確保しており、増やすための取組みを実施している
2	一定予算枠を常に確保している
3	年度予算ごとに決定している
4	特段確保していない
1または2を選択された場合は下記10-2についてもお答えください。	
10-2 記述	業価値向上のためのIT予算について記載されている資料名をご記入ください。 例：FY2016全社IT投資計画書／FY2015IT白書
11 IT活用による「革新的な生産性向上」	
11-1	ITを活用した、革新的な生産性向上を目指した、働き方・組織運営の変革、プロセスの変革等に関する取組みを実施していますか。
1	本格的に実施しており効果が出ている
2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない
3	一部で実施している
4	計画中（3年以内に実施予定）
5	計画はない
1または2または3を選択された場合は下記11-2についてもお答えください。	
11-2 記述	取組み（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単にご記入ください。 例：工場でのロボット活用による生産性向上プロジェクト
12 IT活用による「既存ビジネスの拡充」	
12-1	ITを活用した、既存ビジネスの拡充を目指した、顧客との関係強化、マーケティング等の変革、プロセス変革等による満足度向上等の取組みを実施していますか。
1	本格的に実施しており効果が出ている
2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない
3	一部で実施している
4	計画中（3年以内に実施予定）
5	計画はない
1または2または3を選択された場合は下記12-2についてもお答えください。	
12-2 記述	取組み（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単にご記入ください。 例：AIを活用したコールセンターにおける個客別対応プロジェクト
13 IT活用による「ビジネス革新」	
13-1	ITを活用した、ビジネス変革（新規事業創造やビジネスモデルの変革）に関する取組みを実施していますか。
1	本格的に実施しており効果が出ている
2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない
3	一部で実施している
4	計画中（3年以内に実施予定）
5	計画はない
1または2または3を選択された場合は下記13-2についてもお答えください。	
13-2 記述	取組み（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単にご記入ください。 例：製品のサービスモデル化プロジェクト
Q11～Q13いずれかで1または2を選択された場合は下記13-2についてもお答えください。	
14	Q11～13で回答した取組みについて、IR資料等で公開していますか。
1	Q11～13で回答した内容について、IR資料等ですでに社外に公開している
2	一部の内容をIR資料等ですでに社外に公開している
3	社外へは公開していないがIT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
4	公開の予定はない

15	企業価値向上のためのIT投資プロジェクト1										
15-1	「革新的な生産性向上」「既存ビジネスの拡充」「ビジネス革新」等を目指した企業価値向上のためのIT投資プロジェクトの内容（これまで、および今後実施する取組みを含む）について、所定のフォーマット（別途ダウンロード）にご記入ください。 ※貴社にとってより重要性が高い取組み2つについてQ15・Q17それぞれにご記入ください。										
16	企業価値向上のためのIT投資プロジェクト1の責任者										
16-1	Q15でご記入いただいたプロジェクトの責任者はどのようなお立場ですか。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>経営トップ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>経営層（役員会等のメンバー）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>経営層（役員会等のメンバー）以外の事業部門、IT担当部門トップ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>その他</td> </tr> </table>	1	経営トップ	2	経営層（役員会等のメンバー）	3	経営層（役員会等のメンバー）以外の事業部門、IT担当部門トップ	4	その他		
1	経営トップ										
2	経営層（役員会等のメンバー）										
3	経営層（役員会等のメンバー）以外の事業部門、IT担当部門トップ										
4	その他										
	1または2または3を選択された場合は下記16-2についてもお答えください。										
16-2 記述	Q16-1でご回答いただいた責任者の方のお役職をご記入ください。 例：取締役副社長										
17	企業価値向上のためのIT投資プロジェクト2										
17-1	「革新的な生産性向上」「既存ビジネスの拡充」「ビジネス革新」等を目指した企業価値向上のためのIT投資プロジェクトの内容（これまで、および今後実施する取組みを含む）について、所定のフォーマットにご記入ください。 ※貴社にとってより重要性が高い取組み2つについてQ15・Q17それぞれにご記入ください。										
18	企業価値向上のためのIT投資プロジェクト2の責任者										
18-1	上記プロジェクトの責任者はどのようなお立場ですか。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>経営トップ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>経営層（役員会等のメンバー）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>経営層（役員会等のメンバー）以外の事業部門、IT担当部門トップ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>その他</td> </tr> </table>	1	経営トップ	2	経営層（役員会等のメンバー）	3	経営層（役員会等のメンバー）以外の事業部門、IT担当部門トップ	4	その他		
1	経営トップ										
2	経営層（役員会等のメンバー）										
3	経営層（役員会等のメンバー）以外の事業部門、IT担当部門トップ										
4	その他										
	1または2または3を選択された場合は下記18-2についてもお答えください。										
18-2 記述	Q18-1でご回答いただいた責任者の方のお役職をご記入ください。 例：常務執行役員										
19	売上高・営業利益の変化										
19-1	企業価値向上のためのIT投資を実施した前後の、企業全体としての売上高・営業利益はどのように変化していますか。 ※Q15・Q17で記入いただいた企業価値向上のためのIT投資プロジェクトとの関係を質問しているものではありません。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>売上高、営業利益のいずれも増加している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>売上高のみ増加している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>営業利益のみ増加している</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>売上高、営業利益ともに増加していない。</td> </tr> </table>	1	売上高、営業利益のいずれも増加している	2	売上高のみ増加している	3	営業利益のみ増加している	4	売上高、営業利益ともに増加していない。		
1	売上高、営業利益のいずれも増加している										
2	売上高のみ増加している										
3	営業利益のみ増加している										
4	売上高、営業利益ともに増加していない。										
	いずれを選択された場合も下記19-2についてもお答えください。										
19-2 記述	Q19-1の裏付けとなるIR資料名をご記入ください。 例：株主通信（FY2015）										
20	最新のデジタル技術の活用										
20-1	最新のデジタル技術について、活用に着手していますか。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>すでに活用中</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>トライアルに取組み中</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>計画中（3年以内の実施を予定）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>検討中（基礎研究等を実施中）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>未着手</td> </tr> </table>	1	すでに活用中	2	トライアルに取組み中	3	計画中（3年以内の実施を予定）	4	検討中（基礎研究等を実施中）	5	未着手
1	すでに活用中										
2	トライアルに取組み中										
3	計画中（3年以内の実施を予定）										
4	検討中（基礎研究等を実施中）										
5	未着手										
	1および2を選択された場合は下記20-2についてもお答えください。										
20-2 記述	活用されている技術をご記入ください。 例：コールセンターにおけるAI活用										
21	最新のデジタル技術の活用を促すトライアル・リーンスタートアップ等の制度・仕組み										
21-1	最新のデジタル技術の活用を促すための、トライアルやリーンスタートアップ等、活動を支援する制度、仕組みがありますか。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>制度・仕組みがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>明確な制度はないが、実施可能な社風、風土がある</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>必用に応じ稟議を経て承認する</td> </tr> </table>	1	制度・仕組みがある	2	明確な制度はないが、実施可能な社風、風土がある	3	必用に応じ稟議を経て承認する				
1	制度・仕組みがある										
2	明確な制度はないが、実施可能な社風、風土がある										
3	必用に応じ稟議を経て承認する										
	1を選択された場合は下記21-2についてもお答えください。										
21-2 記述	制度の名称、仕組みの概要等をご記入ください。 例：デジタル技術チームの新設と予算確保										

Ⅲ 攻めのIT経営を推進するための体制および人材											
22	IT戦略の立案・推進・評価を実施する会議体の設置、開催										
22-1	企業価値向上のためのIT戦略を、立案・推進・評価する会議体があり、それが定期的に開催されていますか。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>経営トップを含む関係役員レベルの会議体があり、定期的に開催している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>部門長レベルの会議体があり、定期的に開催している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>明示的には存在しない</td> </tr> </table>	1	経営トップを含む関係役員レベルの会議体があり、定期的に開催している	2	部門長レベルの会議体があり、定期的に開催している	3	明示的には存在しない				
1	経営トップを含む関係役員レベルの会議体があり、定期的に開催している										
2	部門長レベルの会議体があり、定期的に開催している										
3	明示的には存在しない										
	1または2を選択された場合は下記22-2についてもお答えください。										
22-2 記述	会議体名および開催頻度をご記入ください。 例：全社ITステアリング会議（原則四半期に1回）										
23	企業価値向上のためのIT活用の検討体制										
23-1	最新のデジタル技術等、ITを活用した企業価値向上のための取組みを検討する、事業関係者・IT関係者が一体となった専門組織がありますか。もしくは部門横断の検討体制（クロスファンクショナルチーム等）の整備を行っていますか。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>事業関係者・IT関係者が一体となった専門組織を設置、もしくは部門横断の推進体制の整備をしている。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>事業部門が必要に応じて企画・推進しているが、全社的な連携やIT担当部門との連携は取れている。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>事業部門が必要に応じて独自に企画・推進しており、全社的な連携やIT担当部門との連携は取れていない。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>事業部門の要望によりIT担当部門が都度対応している</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>明示的には存在しない</td> </tr> </table>	1	事業関係者・IT関係者が一体となった専門組織を設置、もしくは部門横断の推進体制の整備をしている。	2	事業部門が必要に応じて企画・推進しているが、全社的な連携やIT担当部門との連携は取れている。	3	事業部門が必要に応じて独自に企画・推進しており、全社的な連携やIT担当部門との連携は取れていない。	4	事業部門の要望によりIT担当部門が都度対応している	5	明示的には存在しない
1	事業関係者・IT関係者が一体となった専門組織を設置、もしくは部門横断の推進体制の整備をしている。										
2	事業部門が必要に応じて企画・推進しているが、全社的な連携やIT担当部門との連携は取れている。										
3	事業部門が必要に応じて独自に企画・推進しており、全社的な連携やIT担当部門との連携は取れていない。										
4	事業部門の要望によりIT担当部門が都度対応している										
5	明示的には存在しない										
	1を選択された場合は下記23-2、23-3についてもお答えください。										
23-2 記述	その組織名をご記入ください。 例：●●tech検討チーム										
23-3	その内容をIR資料等で公開していますか										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>その内容をIR資料等ですでに社外に公開している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>社外への公開を準備中である</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>公開する予定はない</td> </tr> </table>	1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している	2	社外への公開を準備中である	3	公開する予定はない				
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している										
2	社外への公開を準備中である										
3	公開する予定はない										
24	企業価値向上のためのIT活用の検討体制におけるテーマ										
24-1	Q23でお答えいただいた組織で検討されているテーマを選択してください（複数選択可）										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>革新的な生産性向上を目指した、働き方・組織運営の変革・プロセスの変革等に関する取組み</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ビジネス成長を目指した、顧客との関係強化・マーケティング等の変革、プロセス変革による満足度向上等の取組み</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ビジネス変革（新規事業創造やビジネスモデルの変革）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>その他：具体的に記入（ ）</td> </tr> </table>	1	革新的な生産性向上を目指した、働き方・組織運営の変革・プロセスの変革等に関する取組み	2	ビジネス成長を目指した、顧客との関係強化・マーケティング等の変革、プロセス変革による満足度向上等の取組み	3	ビジネス変革（新規事業創造やビジネスモデルの変革）	4	その他：具体的に記入（ ）		
1	革新的な生産性向上を目指した、働き方・組織運営の変革・プロセスの変革等に関する取組み										
2	ビジネス成長を目指した、顧客との関係強化・マーケティング等の変革、プロセス変革による満足度向上等の取組み										
3	ビジネス変革（新規事業創造やビジネスモデルの変革）										
4	その他：具体的に記入（ ）										
	いずれかを選択された場合は下記24-2についてもお答えください。										
24-2 記述	テーマの概要をご記入ください（複数テーマの場合はあわせて複数ご記入ください）。 例：モバイルワーク推進、サービスの高度化										
25	企業価値向上のためのIT活用の検討体制のミッション・人材										
25-1	Q23でお答えいただいた組織について、あてはまるものを1つ選択してください。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>組織のミッション・ゴールが明確になっているとともに、所属する人材に必要な能力・スキルが明確になっている。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>組織のミッション・ゴールは明確だが、必要な能力・スキルを明確化できていない。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>組織のミッション・ゴールが明確になっていない。</td> </tr> </table>	1	組織のミッション・ゴールが明確になっているとともに、所属する人材に必要な能力・スキルが明確になっている。	2	組織のミッション・ゴールは明確だが、必要な能力・スキルを明確化できていない。	3	組織のミッション・ゴールが明確になっていない。				
1	組織のミッション・ゴールが明確になっているとともに、所属する人材に必要な能力・スキルが明確になっている。										
2	組織のミッション・ゴールは明確だが、必要な能力・スキルを明確化できていない。										
3	組織のミッション・ゴールが明確になっていない。										
	1または2を選択された場合は下記25-2についてもお答えください。										
25-2 記述	組織のミッションや人材の概要をご記入ください。 例：●●Techの自社への適用の検証/新たなデジタル技術の評価でき、ビジネスニーズと結びつけることができる人材										
26	企業価値向上のためのIT活用の検討体制のメンバー										
26-1	Q23でお答えいただいた組織のメンバーは専任ですか、兼任ですか？										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>全てのメンバーが専任</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一部のメンバーは専任だが、ほとんどは兼任</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>全てのメンバーが兼任</td> </tr> </table>	1	全てのメンバーが専任	2	一部のメンバーは専任だが、ほとんどは兼任	3	全てのメンバーが兼任				
1	全てのメンバーが専任										
2	一部のメンバーは専任だが、ほとんどは兼任										
3	全てのメンバーが兼任										
27	最新のデジタル技術の評価や適用の検討体制										
27-1	最新のデジタル技術の動向を把握するとともに評価をし、その適用の可能性を検討する専門組織を設け、常時活動を行っていますか。										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>最新のデジタル技術の評価や適用の検討を専門組織を設置し常時行っている</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>常時ではないが技術によっては調査・評価を行っている</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>必要となった際に都度調査・評価している</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>情報収集はしているが、評価まではしていない</td> </tr> </table>	1	最新のデジタル技術の評価や適用の検討を専門組織を設置し常時行っている	2	常時ではないが技術によっては調査・評価を行っている	3	必要となった際に都度調査・評価している	4	情報収集はしているが、評価まではしていない		
1	最新のデジタル技術の評価や適用の検討を専門組織を設置し常時行っている										
2	常時ではないが技術によっては調査・評価を行っている										
3	必要となった際に都度調査・評価している										
4	情報収集はしているが、評価まではしていない										
	1を選択された場合は下記27-2、27-3についてもお答えください。										
27-2 記述	組織の名称をご記入ください。 例：IT企画部・技術グループおよびマーケティング部デジタルマーケティンググループ										
27-3	その内容をIR資料等で公開していますか										
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>その内容をIR資料等ですでに社外に公開している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>社内では周知されているが、公開の予定はない</td> </tr> </table>	1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している	2	IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である	3	社内では周知されているが、公開の予定はない				
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している										
2	IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である										
3	社内では周知されているが、公開の予定はない										

28	企業価値向上のためのIT活用を支える人材								
28-1	企業価値向上のためのIT活用を支える人材として、どのような人材が必要か明確になっており、確保のための取組みを実施していますか（計画的な育成、中途採用、外部からの出向、事業部門・IT担当部門間の人事異動等）								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>明確になっており、確保できている</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>明確になっており、確保のために取り組んでいる</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>明確になっていない</td> </tr> </table>	1	明確になっており、確保できている	2	明確になっており、確保のために取り組んでいる	3	明確になっていない		
1	明確になっており、確保できている								
2	明確になっており、確保のために取り組んでいる								
3	明確になっていない								
1または2を選択された場合は下記28-2、28-3についてもお答えください。									
28-2	必要な人材の概要・確保のための取組み概要 例：最新のデジタル技術とビジネスニーズをつないで活用を推進できる人材。中途採用および事業部門からの人事異動を実施。								
28-3	その内容をIR資料等で公開していますか								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>その内容をIR資料等ですでに社外に公開している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>IT関連の報告書等で社内周知されており、社外への公開も準備中である</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>社内では周知されているが、公開の予定はない</td> </tr> </table>	1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している	2	IT関連の報告書等で社内周知されており、社外への公開も準備中である	3	社内では周知されているが、公開の予定はない		
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している								
2	IT関連の報告書等で社内周知されており、社外への公開も準備中である								
3	社内では周知されているが、公開の予定はない								
29	IT活用を推進するための提案制度・プロセス								
29-1	ITを活用して製品や事業を変革し、企業価値を高めるための提案制度やプロセス等がありますか。								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>IT活用に関する独立した提案制度やそれを評価・採用するプロセスがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>社内全体の提案評価制度の中で運用されている</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>制度・プロセスはない</td> </tr> </table>	1	IT活用に関する独立した提案制度やそれを評価・採用するプロセスがある	2	社内全体の提案評価制度の中で運用されている	3	その他	4	制度・プロセスはない
1	IT活用に関する独立した提案制度やそれを評価・採用するプロセスがある								
2	社内全体の提案評価制度の中で運用されている								
3	その他								
4	制度・プロセスはない								
1または2を選択された場合は下記29-2についてもお答えください。									
29-2	制度やプロセスの名称や概要をご記入ください。 例：新サービス提案制度								
30	企業価値向上のためのIT活用についての普及啓発・育成の取組み								
30-1	全社員が、企業価値向上のためのIT活用を自ら考え、能動的に活動できるよう、勉強会など普及啓発・育成の取組みを実施していますか。								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>全社員を対象に実施している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一部の社員を対象に実施している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>実施していない</td> </tr> </table>	1	全社員を対象に実施している	2	一部の社員を対象に実施している	3	実施していない		
1	全社員を対象に実施している								
2	一部の社員を対象に実施している								
3	実施していない								
1または2を選択された場合は下記30-2についてもお答えください。									
30-2	取組みの概要をご記入ください。 例：社員向け「IoT活用講座」（IT企画部・R&D部門が講師担当）								
31	事業部門とIT担当者との情報交換・交流								
31-1	事業部門とIT担当者として、企業価値向上のためのIT活用に向け、最新のデジタル技術等のIT動向や、顧客ニーズについて定期的な情報交換・交流の機会がありますか。								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>定期的な情報交換・交流の機会・場があり、連動した取組みができています。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>定期的な場はないが、常日頃から頻りに情報交換・交流しており、連動した取組みができています。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>情報交換・交流する機会はほとんどない</td> </tr> </table>	1	定期的な情報交換・交流の機会・場があり、連動した取組みができています。	2	定期的な場はないが、常日頃から頻りに情報交換・交流しており、連動した取組みができています。	3	情報交換・交流する機会はほとんどない		
1	定期的な情報交換・交流の機会・場があり、連動した取組みができています。								
2	定期的な場はないが、常日頃から頻りに情報交換・交流しており、連動した取組みができています。								
3	情報交換・交流する機会はほとんどない								
1を選択された場合は下記31-2についてもお答えください。									
31-2	交流の機会・場の名称や概要、頻度をご記入ください。 例：最新IT動向ニーズ情報交換会、2か月に1回開催								
32	外部リソースの活用								
32-1	企業価値向上のためのIT活用推進において、オープンイノベーションの推進、社外アドバイザー・パートナーの活用など、外部リソースを活用できていますか。								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>活用している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>活用を具体的に計画している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>活用していない</td> </tr> </table>	1	活用している	2	活用を具体的に計画している	3	活用していない		
1	活用している								
2	活用を具体的に計画している								
3	活用していない								
1または2を選択された場合は下記32-2についてもお答えください。									
32-2	実施・検討内容の概要をご記入ください。 例：プライベートハッカソンの開催								
33	エコシステム・企業間連携								
33-1	企業価値向上のためのIT活用、特に「ビジネス変革」等を実現するため、エコシステム等、企業間連携を実施していますか。								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>実施している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>実施を具体的に計画している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>予定・計画がない</td> </tr> </table>	1	実施している	2	実施を具体的に計画している	3	予定・計画がない		
1	実施している								
2	実施を具体的に計画している								
3	予定・計画がない								
1を選択された場合は下記33-2についてもお答えください。									
33-2	実施内容の概要をご記入ください。 例：データ分析における専門会社とのコラボレーション								
34	共創の場								
34-1	新たな取組み・価値を創出するために、部門および組織横断（外部の組織も含む）の共創を促進する場がありますか。								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>実施を具体的に計画している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>予定・計画がない</td> </tr> </table>	1	ある	2	実施を具体的に計画している	3	予定・計画がない		
1	ある								
2	実施を具体的に計画している								
3	予定・計画がない								
1または2を選択された場合は下記34-2についてもお答えください。									
34-2	名称または概要をご記入ください。 例：●●イノベーションセンターの創設								

IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組み	
35	経営トップの情報セキュリティリスクについての認識
35-1	経営トップをはじめ経営層が情報セキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、管理体制を構築していますか。
1	経営層が情報セキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、定期的に協議する場があり、役員レベルでの責任者をCISO等に位置づけている
2	定期的に経営層が認識・協議する場がある
3	通常では経営層の関与はほとんど無く、内外で事故・事件があった場合に関与・対応している
1または2を選択された場合は下記35-2、35-3についてもお答えください。	
35-2 記述	その会議体等の名称、責任者の役職をご記入ください。 例：会議体：全社リスクマネジメントコミッティ 責任者：経営企画担当常務
36	情報セキュリティポリシーの策定と体制の構築、リスク分析
36-1	情報セキュリティポリシーを定めるとともに、日常の管理および事故時の即応のための体制を構築し、PDCA サイクルを定義して改善に向けて取り組んでいますか。
1	情報セキュリティポリシー等を定め、管理・即応体制を構築するとともに、リスクの分析を行い、対策を講じている。また、PDCA サイクルを定義して、モニタリングや定期的な見直しを実施するなど、改善に向けて取り組んでいる。
2	情報セキュリティポリシー等を定め、管理・即応体制を構築するとともに、リスクの分析を行い、対策を講じているが、PDCA サイクルを定義した、改善への取組みは実施していない。
3	情報セキュリティポリシー等を定めていない。
1または2を選択された場合は下記36-2についてもお答えください。	
36-2 記述	その責任部署名をご記入ください。 例：業務改革本部・IT企画部セキュリティグループ
37	情報セキュリティへの取組みに関する開示
37-1	情報セキュリティを経営リスクの一つと捉え、その取組みを前提としたリスクの性質・度合いに応じて、情報セキュリティ報告書、CSR報告書、サステナビリティレポートや有価証券報告書等への記載を通じて開示を行っていますか。
1	セキュリティポリシー、関連投資、体制、日常的なPDCA活動などに関して、紹介・開示を行っている
2	セキュリティポリシーなど一部の関連情報のみ、紹介や開示をしている
3	開示項目の選定含めて、開示のための作業を行っている
4	開示を検討中である
5	開示の計画はない
1または2を選択された場合は下記37-2についてもお答えください。	
37-2 記述	掲載されている資料名をご記入ください。 例：リスクマネジメントレポート2015
38	システムの維持管理・改善方針策定と実行
38-1	システムの維持管理・改善について、システムを大胆に刷新して、中期的に大局的なコスト削減や、攻めのIT投資の土台となる基盤を整備する計画を策定し、実行できていますか。
1	経営トップの参画の下、システムを大胆に刷新して、中期的に大局的なコスト削減や、攻めのIT投資の土台となる基盤を整備する計画を策定し、実行している。
2	IT担当部門に取組みを任せており、システムの維持管理・改善の計画策定に経営トップは関与していない
1を選択された場合は下記38-2、38-3についてもお答えください。	
38-2 記述	その計画名等をご記入ください。 例：：全社基幹業務システム再構築計画書
38-3	その内容をIR資料等で公開していますか
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
2	IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
3	社内では周知されているが、公開の予定はない
39	レガシーシステムからの脱却のための取組み
39-1	技術面の老朽化、システムの肥大化・複雑化、ブラックボックス化等が問題（経営・事業戦略上の足かせ、高コスト構造の原因等）となっていますか。その課題解決に取り組んでいますか。
1	かつて問題であったが解決している、または問題となっていない。
2	問題となっており、現在解決に向けて取り組んでいる。
3	問題となっているが、課題解決のためには検討中、あるいは未着手。
1または2を選択された場合は下記39-2についてもお答えください。	
39-2 記述	問題解決のために実施されている内容について簡単にご記入ください。 基幹業務へのパッケージ全面活用

40	全社データの整合性確保のための取組み
40-1	企業価値向上のためのIT活用を実施するにあたって、全社のデータ整合性などが確保されていますか。
1	スムーズに短期間に連携できるよう、全社的にデータ整合性を確保している。
2	全社的にデータ整合性を確保するために、その準備や作業を行っている
3	全社的なデータ整合性は必ずしも確保できていない。
1を選択された場合は下記40-2についてもお答えください。	
40-2	関連するデータ定義書等の名称をご記入ください。 記述 例：グループマスターデータ規定
41	既存のIT・データと最新デジタル技術との連携
41-1	既存のITおよびデータが、導入する最新デジタル技術とスムーズかつ短期間に連携できるとともに、既存データを活用できるようになっていますか。
1	スムーズかつ短期間に連携できるようなアーキテクチャーとなっている。
2	既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造に着手している。
3	既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造を計画（3年以内）している。
4	改造を実施したいが難しい状態である
5	既存のITおよびデータから独立しているので、連携は必要ない
1を選択された場合は下記41-2についてもお答えください。	
41-2	関連するデータ定義書等の名称をご記入ください。 記述 例：グループデータディクショナリー

V	企業価値向上のためのIT投資評価および改善のための取組み	
42	IT投資の事後評価ルール・プロセス	
42-1	IT投資に対する事後評価のルール・プロセスを定め評価していますか。	
	1	実施している
	2	実施していない
	1を選択された場合は下記42-2、42-3についてもお答えください。	
42-2 記述	そのルール・プロセスの名称または概要をご記入ください。 例：稼働評価報告書	
42-3	その内容をIR資料等で公開していますか	
	1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	2	IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
	3	社内では周知されているが、公開の予定はない
43	実験的なIT投資に関する評価基準	
43-1	最新のデジタル技術の活用など、実験的なITのトライアル投資について、他の投資と異なる意思決定プロセスや判断基準がありますか。	
	1	ある
	2	ない
	1を選択された場合は下記43-2についてもお答えください。	
43-2 記述	そのルール・プロセスの名称または概要をご記入ください。 例：最新デジタル技術活用のための投資評価会議での個別の評価	
44	投資効果最大化のための取組み	
44-1	投資効果を最大化するために、全社的に活用状況を把握し、PDCAサイクルを定義して改善に向けて取り組んでいますか。	
	1	取り組んでいる
	2	取り組んでいない
	1を選択された場合は下記44-2、44-3についてもお答えください。	
44-2 記述	PDCAプロセスを確認している会議体等の名称をご記入ください。 例：IT投資委員会によるレビュー会議	
44-3	その内容をIR資料等で公開していますか	
	1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	2	IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
	3	社内では周知されているが、公開の予定はない

「注目企業」選定に関する自由記述	
45	<p>攻めのIT経営推進上の以下のようなテーマに関して、優れた取組みを実施している企業とその取組みを「注目企業」として発表予定です。貴社として特筆すべき取組みについて、所定フォーマットに自由にご記入ください。</p> <p>IT-IR（ITに関する情報開示）、ITに関するR&Dの取組み、ITに関する人材育成、提案制度や社内ベンチャー、ダイバーシティ推進、ITを活用した社会貢献活動、オープンイノベーションの推進、その他特筆すべきテーマ・活動があれば自由にご記入ください。</p>

参考質問：以下の質問はあくまでも参考としてお伺いするものです。評価には利用しません。	
46	自分の所属する部署以外のメンバーと広く情報交換・交流し、部門間の垣根がなくワンチームとして動く風土・マインドがある
	1 まさにあてはまる
	2 ややあてはまる
	3 あまりあてはまらない
	4 全くあてはまらない
	5 わからない
47	新たな挑戦をすることを促進する風土・マインドがある
	1 まさにあてはまる
	2 ややあてはまる
	3 あまりあてはまらない
	4 全くあてはまらない
	5 わからない
48	経営者を含め、職員は新しい情報技術を積極的に受け入れている
	1 まさにあてはまる
	2 ややあてはまる
	3 あまりあてはまらない
	4 全くあてはまらない
	5 わからない
49	経営者や管理者は組織内外のできごとや事実についての情報を積極的に収集している
	1 まさにあてはまる
	2 ややあてはまる
	3 あまりあてはまらない
	4 全くあてはまらない
	5 わからない
50	経験や持っている知識に加えて、事実やデータに基づいた行動が行われている
	1 まさにあてはまる
	2 ややあてはまる
	3 あまりあてはまらない
	4 全くあてはまらない
	5 わからない

Q15企業価値向上のためのIT活用1

Q15 企業価値向上のためのIT投資プロジェクト1

企業価値向上のためのIT投資プロジェクトの内容について、できるだけ詳しくご記入ください。

※必要に応じ、補足資料を別紙で添付してください（既存資料でも構いません）。

企業名		ID	
別添資料	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
IT投資プロジェクトのタイトル			

IT活用テーマ(複数でも結構です)
<input type="checkbox"/> 新たな成長 <input type="checkbox"/> 革新的な生産性向上 <input type="checkbox"/> ビジネス革新 <input type="checkbox"/> その他

対象領域(商品・サービス/顧客等)
<input type="checkbox"/> 既存ビジネスの領域 <input type="checkbox"/> 自社にとって新しい領域 <input type="checkbox"/> 業界のなかで新しい領域 <input type="checkbox"/> 世の中にとって新しい領域

活用している技術 ※必ずしも最新のデジタル技術でなくてもかまいません。
<input type="checkbox"/> IoT <input type="checkbox"/> AI <input type="checkbox"/> ビッグデータ <input type="checkbox"/> ロボット <input type="checkbox"/> ブロックチェーン <input type="checkbox"/> その他 具体的に：

プロジェクトの状況(1つ選択してください)
<input type="checkbox"/> 計画中 <input type="checkbox"/> 構築中 <input type="checkbox"/> 運用中 <input type="checkbox"/> その他 具体的に：

背景および目的

プロジェクトの体制 (簡単にご紹介ください)

Q15企業価値向上のためのIT活用1

IT活用による企業価値向上の取組み詳細

- ・IT活用で実現したい内容、対象、導入方法、採用しているテクノロジー等
- ・その効果・成果

上記取組みが「企業価値向上」である理由

今後の展開等(記載可能であれば)

Q17企業価値向上のためのIT活用2

Q17 企業価値向上のためのIT投資プロジェクト2

企業価値向上のためのIT投資プロジェクトの内容について、できるだけ詳しくご記入ください。

※必要に応じ、補足資料を別紙で添付してください（既存資料でも構いません）。

企業名		ID	
別添資料	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
IT投資プロジェクトのタイトル			

IT活用テーマ(複数でも結構です)			
<input type="checkbox"/> 新たな成長	<input type="checkbox"/> 革新的な生産性向上	<input type="checkbox"/> ビジネス革新	<input type="checkbox"/> その他

対象領域(商品・サービス/顧客等)			
<input type="checkbox"/> 既存ビジネスの領域	<input type="checkbox"/> 自社にとって新しい領域	<input type="checkbox"/> 業界のなかで新しい領域	<input type="checkbox"/> 世の中にとって新しい領域

活用している技術 ※必ずしも最新のデジタル技術でなくてもかまいません。						
<input type="checkbox"/> IoT	<input type="checkbox"/> AI	<input type="checkbox"/> ビッグデータ	<input type="checkbox"/> ロボット	<input type="checkbox"/> ブロックチェーン	<input type="checkbox"/> その他	具体的に：

プロジェクトの状況(1つ選択してください)				
<input type="checkbox"/> 計画中	<input type="checkbox"/> 構築中	<input type="checkbox"/> 運用中	<input type="checkbox"/> その他	具体的に：

背景および目的

プロジェクトの体制 (簡単にご紹介ください)

Q17企業価値向上のためのIT活用2

IT活用による企業価値向上の取組み詳細

- ・IT活用で実現したい内容、対象、導入方法、採用しているテクノロジー等
- ・その効果・成果

上記取組みが「企業価値向上」である理由

今後の展開等(記載可能であれば)

Q45攻めのIT経営推進上の取組み

Q45 攻めのIT経営推進上の取組み

攻めのIT経営推進上の以下のようなテーマに関して、優れた取組みを実施している企業とその取組みを「注目企業」として発表予定です。貴社として紹介したい取組みについて自由にご記入ください。

※複数の取組みを記載されたい場合はシートをコピーしてご記入ください。

※必要に応じ、補足資料を別紙で添付してください（既存資料でも構いません）。

企業名		ID	
-----	--	----	--

別添資料	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
------	-----------------------------	-----------------------------

テーマ

(例) ・IT-IR (ITに関する情報開示) ・ITに関するR&Dの取組み ・ITに関する人材育成
・提案制度や社内ベンチャー、ダイバーシティ推進 ・ITを活用した社会貢献活動 ・オープンイノベーションの推進等
※その他特筆すべきテーマ・活動があれば自由にご記入ください。

その内容

--